

日本福音主義神学会

中部部会報第19号

<目 次>

巻頭言	檀原久由	1p
物語る伝道		
一年12回で聖書を読む会のテキストを用いた伝道		
	大頭眞一	2p
新改訳第三(二)版から新改訳2017へ(より専門的に)		
	渡辺睦夫	11p
聖書協会共同訳聖書を読んで	松浦 剛	18p

「物語る伝道」

『一年 12 回で聖書を読む会』のテキストを用いた伝道

大頭眞一

【聖書（新共同訳）】

- ・これはノアの**物語**である。その世代の中で、ノアは神に従う無垢な人であった。ノアは神と共に歩んだ。（創 6:9）
- ・神を畏れる人は皆、聞くがよい／わたしに成し遂げてくださったことを**物語**ろう。（詩 66:16）
- ・わたしたちの間で実現した事柄について、最初から目撃して御言葉のために働いた人々がわたしたちに伝えたとおりに、**物語**を書き連ねようと、多くの人が既に手を着けています（ルカ 1:1 -2）

【なぜ、物語なのか】

物語る伝道の出発点になったのは、2011 年に大頭が翻訳したロダール著「神の物語」（2017 年新書版上下 2 巻に改版しヨベルより出版）でした。そこにある「物語神学」について関野祐二氏が寄せてくださった論評から引用します。

（前略）1970 年代より、聖書を命題的にではなく物語として読み、聖書の物語によって神学を形造ろうとするスタイルの「物語神学」が登場した。それによれば、聖書は神が人間と協働して被造物を統治する物語、神と神の民および全被造物の大いなる創造と贖いの物語（meta-narrative）である。ただし、この「物語」にフィクションの意味合いはなく、歴史に起こった出来事を生きて働かれる神のみわざと解釈した物語である（上・31-32 頁）。聖書は固定化された客観的真理の宝庫である以上に、神を主人公とした、現在の我々において追体験されるべきダイナミックな物語であり、聖書の大いなる物語に読者自身の物語を書き込んでいくとの双方向性を持つという。聖書から真理を抽出し読み取るだけでなく、聖書のドラマに自ら食い入り、飛び込んでいくのだ（上・24 頁）・・・（中略）・・・物語神学は「神と、神のかたちを回復されつつある人間の、被造世界を統治管理する協働の物語」（上・144-147 頁）という、より包括的な福音理解に立って聖書を読み、そこに生きる神学である。本書はまさにこの物語神学によって聖書全巻を解説した、神の物語なのである。目次を見ていただくな、啓示と理性の問題からスタートし、創造論から終末論まですべての章題に「神の物語」とのフレーズが織り込まれていることが一目瞭然であろう。その物語の中心は、第五部「神の物語の新たな展開——キリスト論」である・・・（後略）・・・〈下・274-275 頁〉

聖書の大いなる物語が語られるときに、そこに神のみわざが現れます。そもそも聖書はそうのように読まれるべき書だからです。ポストモダンの時代にあって、このことはとりわけ重要な意味を持っています。アニメやライトノベル、ゲームといったサブカルチャーの世界は物語に満ちていて、独自の「世界観」が設定され、その中で登場人物が躍動します。聖書からモチーフが取られていると思われるものも少なくありません。人びとはその「世界観」を共有し、仲間意識を抱きます。愛、友情、平和などが目指されますが、単純な勧善懲悪ではなく、敵役にもやむをえない複雑な事情があったりします。現実が投影されているのです。

「四つの法則」や「字のない絵本」という盛んに用いられて来た手段は、その単純さが災いすることが増えているのではないのでしょうか。断定的な物言いは、人びとにカルトを思い起こさせてしまいます。特に昨今はトランプ大統領を支持するアメリカの福音派がニュースで報道され、そこに危うさを感じる人びとも多くいるように感じられます。けれども、聖書は現実の手触りに満ちています。勧善懲悪どころか、一見すると矛盾としか思えないような記述が頻出します。C. S. ルイスは、本物には特有の手触りがあって、それが重要だと述べたが、まさに聖書にはそれがあるのです。

「物語る伝道」は、時間がかかる伝道を目指します。時間をかける伝道です。神の物語という人びとの知らなかった物語をひたすらに語り、聴いた人びとは自身で自分の世界観の修正を行います。そして深いところであらゆる神の物語に飛び込んでいくのです。C. S. ルイスが、ナルニア物語の登場人物に「アスランのくだされた冒険にとびこもうではありませんか」と言わせたように。



ナルニア物語

コースは2通り

■ おひとり参加できる公開コース

毎月第1土曜日の午前10時30分から12時までです。



ミケランジェロ 天地創造

■ お友だちと参加するオーダーメイドコース

2～3名以上のグループでお申込みくだされば、ご希望の日時と開始時期にあわせて開催いたします。（ご希望の日と教会の集会を調整させていただきます。）

第1回	10/1(土)	天地創造
第2回	11/5(土)	アダムとその妻
第3回	12/3(土)	族長たちの物語
第4回	1/7(土)	出エジプトと十戒
第5回	2/4(土)	王と神殿
第6回	3/4(土)	預言者の叫び
第7回	4/1(土)	来るべきメシア
第8回	5/6(土)	知恵文学
第9回	6/3(土)	キリストの誕生
第10回	7/1(土)	十字架と復活
第11回	8/5(土)	教会の誕生
第12回	9/2(土)	終わりのことがら

講師のプロフィール

講師の大頭眞一牧師は、関西聖書神学校（神戸）とナザレン・セオロジカル・カレッジ（英）で学んだ聖書の専門家です。明野キリスト教会牧師、関西聖書神学校講師。



お申込みは、明野キリスト教会へ（電話・メール）

日本イエス・キリスト教団 明野キリスト教会 ホームページ: www.mino-church.jp
〒614-8346 京都府八幡市橋本塩釜29-13 Tel. 075-614-8346

わたしもお薦めします

明野キリスト教会の「一年12回で聖書を読む会」に、みなさまが参加なさいますよう、心からお薦めいたします。大頭牧師が、みなさまをわくわくするような聖書の世界へと案内してくれることでしょう。

日野原重明（聖路加国際病院 理事長・名誉院長）



明野キリスト教会へのアクセス

- お車で…橋本駅コインパーキングをご利用ください。ご連絡くだされば、パーキングまで送迎します。
- 京阪バス…「塩釜」または「橋本小学校」バス停下車
- コミバス…「明野」バス停下車
- 京阪橋本駅より徒歩15分。ご連絡くだされば、送迎します。

信用をネットワークで

明野キリスト教会の 「一年12回で聖書を読む会」

2016年度（10月から開催）

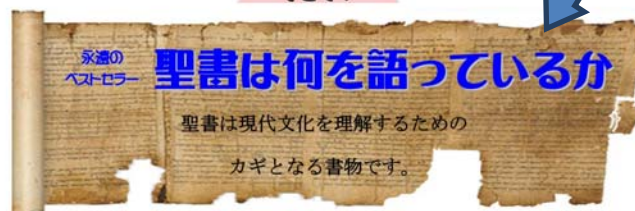
参加者募集！

参加費
無料

聖書には力が。神がいかなる方か物語

ことが多く、挫折する方が多いのです。

そこで！



死海文書「イザヤ書」



一年12回で聖書を読む会のようす

- この会のテキストは、「聖書は物語る・一年12回で聖書を読む本」として、出版されています。参加者には差し上げます。



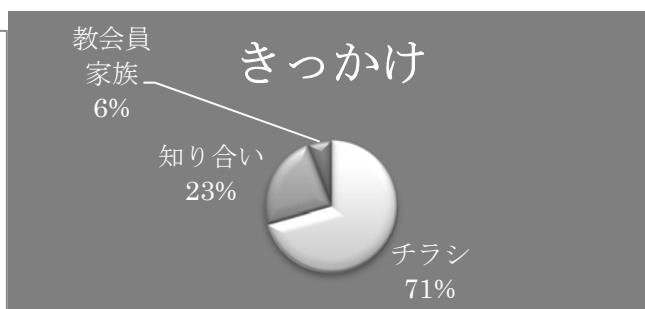
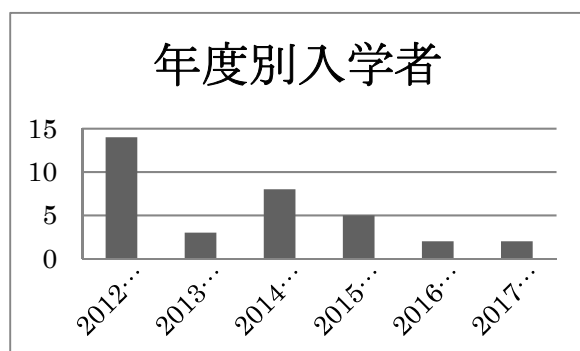
- どのようなお立場・信仰をお持ちの方でも参加できます。信仰を押しつけるようなことは決してありません。

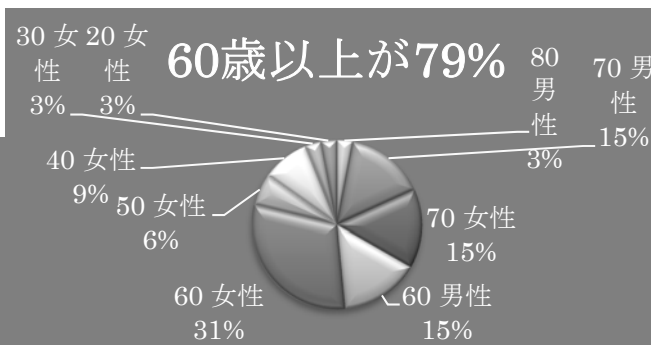
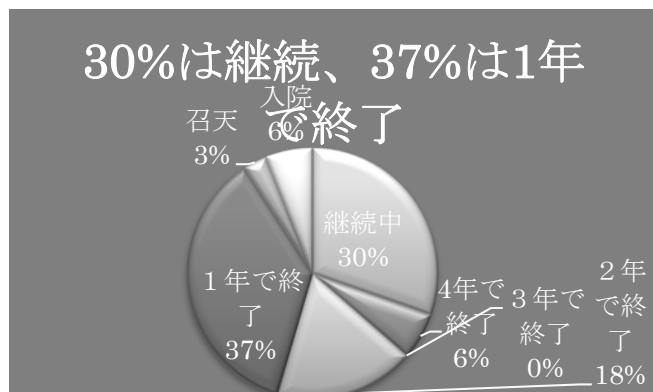
一年 12 回で聖書を読む会参加者データ

番号	イニシャル	年代	性別	きっかけ	2012	2013	2014	2015	2016	2017	継続年数
1	AT	30	女性	教会員家族	①						1
2	KS	80	男性	知り合い	①	②	③	④	⑤	⑥	継続中
3	KY	40	女性	知り合い	①						1
4	KT	70	女性	知り合い	①	②	③	④	⑤	⑥	継続中
5	MK	60	女性	チラシ	①	②					2
6	YH	60	男性	チラシ	①	②					2
7	YM	60	女性	チラシ	①	②					2
8	NT	70	男性	チラシ	①	②	③	④	召天		召天
9	TS	70	男性	チラシ	①	②	③	入院			入院
10	YY	60	男性	知り合い	①	②	③	④			4
11	KZ	60	男性	教会員家族	①	②	③	④			4
12	YY	70	女性	チラシ	①	②	③	④	⑤	⑥	継続中
13	KK	60	女性	チラシ	①						1
14	TA	60	女性	チラシ	①						1
15	HT	70	男性	チラシ		①	入院				入院
16	FI	60	女性	チラシ		①	②				2
17	SK	70	男性	チラシ		①	②	③	④	⑤	継続中
18	FK	60	男性	チラシ			①	②	③	④	継続中
19	IF	60	女性	チラシ			①	②			2
20	SM	60	女性	チラシ			①	②			2
21	EH	70	女性	チラシ			①	②	③	④	継続中
22	MA	50	女性	チラシ			①				1
23	SM	70	女性	知り合い			①				1
24	MN	60	女性	知り合い			①	②	③	④	継続中
25	OF	40	女性	チラシ			①				1
26	OA	60	男性	チラシ				①	②	①	再受講
27	OS	50	女性	チラシ				①	②		2
28	SK	70	男性	チラシ				①			1
29	SK	20	女性	チラシ				①			1
30	IY	60	女性	チラシ				①			1
31	YH	70	女性	チラシ					①		1
32	IK	70	女性	チラシ					①		1
34	KM	60	女性	知り合い						①	初年度
35	YY	40	女性	知り合い						①	初年度

「一年 12 回で聖書を読む会」の実際の様子は、Youtube でご覧になれます。「Youtube」「大頭真一」「一年 12 回で聖書を読む会」で検索してみてください。あるいは、

<https://www.youtube.com/watch?v=ZPCM2mUYeDI>





考えるためのヒント

1. 伝道は、相手との関係づくりから始まるのではないのでしょうか。

1) あなたが、今、関係を持っている人にはどういう人がいますか？

例 職場や学び舎の同僚、友人 近所の人 親戚

2) その人は何を欲していると思いますか？

3) その人といっしょに、何ができると思いますか？

何をしたら、その人はいやがると思いますか？

2. 伝道にはうめきがともないます。新しい人びとを、教会に迎え入れることは、教会が変わっていくことだからです。

あなたは、教会のどんな変化なら受け入れることができますか？また、どんな変化にはついてゆけない、と思いますか？

「聖書は物語る 一年 12 回で聖書を読む本」のポイント

各回のテキストには冒頭に「学びのポイント」が掲げられています。これを見ればおおむねの狙いと内容がおわかりになると思います。

第 1 回 天地創造

学びのポイント

- ・ 聖書は進化論など、科学と対立するのでしょうか。
あるいは、もっと異なる問題を論じているのでしょうか。
- ・ 聖書によれば、人の特別なところは何でしょうか。
- ・ 聖書によれば、人の存在の目的は何でしょうか。

天地創造で問題になるのは進化論。この本では創造科学の立場を取っていません。これには批判もありますが、多くの人がつまずくポイントですので、少なくともニュートラルに語るべきだと考えます。

.....（前略）聖書は科学書ではなく、神について書かれた書であると考えからです。科学知識や科学理論は、新しい発見でもあれば次々に更新されていきます。それは人間にとって本質的な問題ではありません。人間にとって本当に大切なことは、創世記が文字にされたと言われる紀元前十数世紀であっても、21 世紀であっても同じはずで。聖書が扱うのはその本当に大切なことの方だと考えるのです。（10 頁）

その大切なこととは、神と私たちの愛の関係、私たちたがいの愛の関係です。このように創世記11章までは、聖書を読むためのフレームワークが示されていることを語ることができれば、よいですね。

収録図表は、表 1. 1 創世記 1 章と 2 章の比較

表 1. 2 聖書の主な出来事（年表）

表 1. 3 聖書66 巻内容一覧表

図 1. 1 聖書の舞台（地図）

コラム 1 神の呼び名

第 2 回 アダムとその妻

学びのポイント

- ・聖書によれば、人が善に傾くか、悪に傾くかは、何にかかっているのでしょうか。
- ・罪の本質とは何でしょうか。
- ・全能の神が、神に反逆する力を持つ人間を造ったのはなぜでしょうか。
- ・人に裏切られた神は、どのように行動したでしょうか。

原罪や悪の起源が取り扱われています。教会員の方がたにも参加していただいて、証しなどをしていただくとよいと思います。

収録図表は、表 2. 1 「女とへびの会話」と「神がほんとうに言われたこと」

表 2. 3 「神の言葉」と「男と女の言葉」

コラム 1 善悪の知識の木

（コラム番号が重複）

第 3 回 族長たちの物語

学びのポイント

- ・聖書によれば、神が好むご自分の呼び名は何でしょうか。
- ・聖書にある、驚くような長寿の記録にはどのような意味があるのでしょうか。
- ・聖書によれば、神がアブラハムからユダヤ民族を起こしたのは何のためでしょうか。

ユダヤ民族の選びによって、神の贖いの物語は本格的に始動します。アブラハムから、イエス・キリストにいたる系図を収録しています。これは、この後の回においてもくり返し用いるとよいでしょう。族長たちの長寿の説明も一読ください。

収録図表は、表 3. 1 族長たちの物語

表 3. 2 聖書の人々の寿命

図 3. 1 族長たちの系図

図 3. 2 アブラハム、カナンへ（地図）

図 3. 3 アブラハム・イサク・ヤコブ関係図（地図）

第4回 出エジプトと十戒

学びのポイント

- ・聖書によれば、律法とは何でしょうか。
- ・律法全体の2つの中心とは何でしょうか。
- ・律法と律法主義のちがいは何でしょうか

E. P. サンダース以後の聖書学の成果を踏まえ、律法を「神と共に歩く歩き方の教え」と定義しています。律法と律法主義の区別は、伝道の最重要ポイントだと思います。

収録図表は、表 4. 1 十戒の数え方

図 4. 1 出エジプトの経路（地図）

第5回 王と神殿

学びのポイント

- ・エジプトから救い出されたイスラエル（ユダヤ民族）は、神に従順だったでしょうか。
- ・神はそのイスラエルを、どのように扱ったでしょうか。
- ・イスラエルが人間の王を求めたとき、神はどのような思いで応じたでしょうか。
- ・最初の王が神に背を向けたとき、神はどのように感じたでしょうか。

ヨシュア以後の士師記、イスラエルの王制の時代を通じての神の痛みを描きます。ダビデのバテシバ事件など、罪について考えるのによい回でもあります。表 5. 1 南北両王国のできごとと王・預言者は次回でもちようほうします。

収録図表は、図 5. 1 部族の定着

表 5. 1 南北両王国のできごとと王・預言者

第6回 預言者の叫び

学びのポイント

- ・預言と予言のちがいは何でしょうか。
- ・社会正義を叫ぶ預言者たちを突き動かしたのは何だったでしょうか。
- ・聖書は神には感情があると言っているでしょうか。
- ・神は、バビロンで捕囚になったイスラエルに何をしましたでしょうか。

前半のクライマックスともいえる回。「神の痛みの神学」を基調にしています。10月スタートなら3月のイースターの季節ですから、イエス・キリストの十字架を語ってもよいでしょう。

収録図表は、ありません。

第7回 来るべきメシア

学びのポイント

- ・歴史には終わりがあるのでしょうか。
- ・世界の終わりに実現するのは、どのようなことでしょうか。
- ・メシアはどのような存在だと預言されているのでしょうか。
- ・神はなぜ一瞬にしてこの世界の問題を終わらせないのででしょうか。

引き続き、預言書。聖書からの引用が多いので単調にならないように、工夫が必要です。新約聖書と旧約聖書を対比していますので、伝道によい回でもあります。

収録図表は、表7. 1 終末についての主要概念と関連する預言

表7. 2 メシアの預言と成就

コラム2 イエス・キリストの誕生はいつ？

第8回 詩歌と知恵文学

学びのポイント

- ・神は人の感情や思いを理解するのでしょうか。
- ・神に苦難の意味を問うことを、神は許すのでしょうか。
- ・現世で成功している者は、正しい者でしょうか。
- ・聖書は具体的な人生の指針を、与えているのでしょうか。
- ・聖書は肉体や性を、精神より劣るものとみなしているのでしょうか。

神義論や、人生の諸問題に触れる回。参加者の方がたの思いが聞けるとよいですね。コーヒー・ブレイクを設けたり、教会行事や礼拝、食事やコンサート、映画にお誘いして関係を深めることもよいですね。明野キリスト教会では、ひきこもりの母の会が始まりました。

収録図表は、ありません。

第9回 キリストの誕生

学びのポイント

- ・福音とは何でしょうか。
- ・福音書はなぜ4つあるのでしょうか。
- ・神の国とは何でしょうか。
- ・神の国が始まっているのに、多くの問題があるのはなぜでしょうか。
- ・聖書の奇蹟を見るとときに、たいせつなことは何でしょうか。

いよいよ新約聖書。オスカー・クルマンの「すでに…まだ」は決定的に重要な概念なので、よく理解していただきます。図9. 1 イエスの降誕（D デイ）とイエスの再臨（V デイ）の関係は以後の会でも毎回のよう参照するとよいでしょう。奇蹟をどう考えるかについても、大きなポイントになります。

収録図表は、図9. 1 イエスの降誕（D デイ）とイエスの再臨（V デイ）の関係

図9. 2 イエスの足跡

コラム3 神の子

コラム4 奇蹟と奇跡

コラム5 深くあわれむ神

第10回 十字架と復活

学びのポイント

- ・復活とは何でしょうか。
- ・神はなぜイエスを復活させたのでしょうか。
- ・キリストの十字架はなぜ被造物の贖いになるのでしょうか。

後半のクライマックスです。アンセルムス、アベラール、アウレンそしてアタナシオスの贖罪論が、その名前は出さず語られます。じっくり参加者と語り合い、どの贖罪論がその人に響いているかを感じ取りたいものです。

収録図表は、コラム6 キリストの墓の場所は？

第11回 教会の誕生

学びのポイント

- ・三位一体とは何でしょうか。
- ・ペンテコステとは何でしょうか。
- ・教会とは何でしょうか。
- ・パウロとはだれでしょうか。
- ・パウロの宣教の中心点は何でしょうか。

教会の4つの本質を語ります。参加者を教会生活へと招くイントロになるとさいわいです。後半にローマ書からの伝道メッセージを加えていますので、アレンジしてお用いください。

収録図表は、表11. 1 教会の主なできごと（年表）

図11. 1 パウロの第一次・第二次伝道旅行

コラム7 十二使徒とパウロ

第12回 終わりのことから

学びのポイント

- ・「ヨハネの黙示録」が書かれた目的は何でしょうか。
- ・神はなぜ、この世を終わらせるのでしょうか。
- ・キリストの再臨のとき、何がおこるのでしょうか。
- ・福音を聞いたことがない人は、どのように審かれるのでしょうか。

最終回は黙示録。オカルト的な見方を斥け、ここまで読んできた聖書の一貫した文脈の中でお語りください。岡山英雄氏の「小羊の王国」などを参考にしています。脅かすのではなく、どこまでも福音として語りきっていただきたいと思います。未信者の審きについては、憶測を避けて、あわれみ深い神の御手にゆだねることを語っています。ユニバーサリズム（万人救済説）には触れないのが無難でしょう。

収録図表は、なし。

続編の「聖書はさらに物語る 一年12回で聖書を読む本」は、2年目のテキストとして、よいでしょう。新約の分量を増やしています。目次を掲げます。

(日本イエス・キリスト教団 明野キリスト教会牧師)

時間があれば、この曲を聴きます。Youtube にもあります。

「Youtube」「大頭真一」「インターロッキング」で検索、あるいは、

<https://www.youtube.com/watch?v=ozDom7NnQdk&list=PLc7F9b3y5GdGn3dKIWRcpiFXsrEWUQ5sY&index=2>

夜明けの歌

インターロッキング音頭バージョン

作詞 大頭 真一

作詞 岩瀬まこと

とち もよー あな たが き い た あ の よ あ け
しゅ イエス のー はー こ ぼ ら くれ る そー たれの よー あー け
あ の ひー み が え ら れ た * しゅー の よー はー あー まー け
きよ う もー あ ふー が れー あ た ら し * よー さー び れ る お ど まー り
ぼくらのいのちを ひ らー く せ か い のー よー あ け
しゅ イエス の あ さ い ま ひ ら く か み さ まー が く
だ さ っ た ぼ う け ん 1. Dm 2. Dm Fine ん は あ イ ン ター
ロッ キ ン グ さ あ さ て ん と ち の さ あ さ て ん と ち の は あ
イ ン ター ロ ッ キ ン グ D.C.

中部地区福音主義神学会「新改訳第三(二)版から新改訳 2017 へ(より専門的に)」

はじめに:

★**基本方針:**新改訳第三版(以下、第三版)から新改訳 2017(以下、2017)になったときに訳語にいろいろな変化(変更)があったことに注目し、その中で特に重要なものを取り上げ、その変化(変更)の意味や目的について推測したい。以下は、私自身(関係者?)が、2017 を読んで変化(変更)を見つけ、その意味や目的について考えた(推測)もので、新日本聖書刊行会が公にしたものではない。したがって、この中に、様々な形やレベルでの誤りが含まれている可能性があります(もちろん、いろいろ考え推測するにあたり、より相応しい解釈や判断を求めて、いくつかの文法書や注解書などを参考にしています)。

*また、以下に取り上げる聖書箇所は、聖書を読んで解釈していこうとする際に直面するであろう、より大きな変化(変更)であると個人的にみなしたもののなかから選んでいます。

★**本小論の目的:**教会で使用する聖書が第三版から 2017 に替わる時に信徒の方々の間で生じる様々な質問に答えにくための材料とそのための基本的な取扱い方を提供しようとするものです。何らかの形で参考にいただければ幸いです。ただし、実際に変更箇所を調べてきて分かったことですが、それは膨大な数に及び、限られた時間内でそれらを網羅することは全くできないということです。例えば、A4 の用紙で換算すると以下ようになります。ホセア書: 7 頁(約 60 箇所)、アモス書 3 頁(約 25 箇所)、ヨハネの福音書: 10 頁(約 95 箇所)、使徒の働き: 26 頁(200 箇所以上) など…。

★以下は、分かりやすくするために、次のような分類記号も付しています(ただし難しい例もありますので、便宜上の分類であることをご了解ください)。

「A」:写本の扱い(本文批評問題)における変化(変更)に関わるもの:

*1 サムエル 8:16 「若者」⇒「子牛」:「אַתָּה בָּחוּר יְלָדִים」: Stuart 『旧約聖書の釈義』で扱っている箇所

「B」:単語レベルの変化(変更)に関わるもの(文法、語意):

* (文法): 創 12:2 「あなたの名は祝福となる」→「あなたは祝福となりなさい。」

* (語意): 創 43:11 「くるみ」→「ピスタチオ」

「C」:文(句・節)レベルの変化(変更)に関わるもの(例えば、句や節のかかり方など):

*ローマ 14:17 「なぜなら、神の国は飲み食いのことではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。」→
「なぜなら、神の国は食べたり飲んだりすることではなく、聖霊による義と平和と喜びだからです。」

「D」:その他(より学義的な翻訳を求めて、翻訳の手法として、神学的・総合的判断から、その他)

*創 43:14 「全能の神がその方に、あなたがたをあわれませてくださるように」→

「全能の神が、その方の前でおまえたちをあわれんでくださるように。」

*「וְאֵל שַׁדַּי יִתֵּן לָכֶם רַחֲמִים לִפְנֵי הָאֵלֹהִים」の「リフネーイ」をそのまま訳すと「…の前に」である。

*イザヤ 9:1-6 (「B 文法」でもあるが、最終的には翻訳の手法上の判断に含まれるかもしれない)

*ヨハネ 4:23, 24 (神学的、総合的判断に基づくの言えるかも?)

★「新改訳 2017」の翻訳に関する基本的な説明は、様々なかたちですでになされています。頒布(はんぷ)されています資料などをお読みください。ここでは、重要な特徴だけ確認させていただきたいと思います。『どう変わる?新しい聖書 新改訳 2017』(新日本聖書刊行会)などを参考にしています。

①日本語変化に対応:

②**聖書学の進歩を反映:**以下でも、例を挙げて説明しますが、最新の底本(校訂本)に基づくと共に、これまでの釈義的研究の成果が反映されています。

③**原点に忠実(原文が透けて見える翻訳の継承):**「原文が透けて見える」という説明が少し分かり難かったのですが、以下の実例と共に、「原文が透けて見える」翻訳とは何か、ここで何が実際に意図されているのか考えたいと思います(この点は、実際に、第三版よりも 2017 のほうがさらに明確になっていると思います)。

④ 朗読に適した読みやすい日本語:

⑤ 旧新約で訳語をなるべく統一(訳語の連続性): このことも、以下で実例を挙げて説明したいと思います。

⑥ 新改訳の全面改訂(大改訂): 第二版から第三版にかけて小改訂はありましたが、聖書の文言が、47 年間(1970 年以降)ほとんどそのままであったと言えます。そのため今回、聖書全節の約 9 割に何らかの修正、変更を加える必要が出て来たと言ってよいでしょう(この意味でも、今後小改訂を繰り返していく必要があると言えます)。今回の研修会準備で特に驚かされましたのは、単に聖書全節の約 9 割に何らかの手が加えられているという改訂箇所などの多さだけでなく、聖書箇所ごとの理解とそれに基づく翻訳の重大な変化・変更が顕著にみられたということです(…重要な変化・変更箇所が多すぎて、聖書全体を見ることができず、また発表時間も限られていますので、その一部を皆さんにご紹介するだけになってしまいますことをご了解いただきたいと思います。重要な変化・変更箇所の多さについては、上記の通り)。

* 使用聖書箇所: 創世記 30 章(50 章)、ホセア書、アモス書、ヨハネの福音書、使徒の働き(出エジプト記、詩篇、イザヤ書、黙示録、ローマ書などの一部)

* 聖書箇所に関する各コメンタリー、ギリシャ語・ヘブル語の文法書、辞典など

1) 特に注目できる箇所を上記の聖書箇所から選んでいます(「A」: 写本の扱い(本文批評問題)における変化(変更)に関わるもの、「B」: 単語レベルの変化(変更)に関わるもの(文法、語意)、「C」: 文(句・節)レベルの変化(変更)に関わるもの、「D」: その他)。

① * ヨハネ 20:17「C」:「わたしの兄弟たちのところに行って、彼らに『わたしは、わたしの父またあなたがたの父、わたしの神またあなたがたの神のもとに上る』と告げなさい。」→「わたしの兄弟たちのところに行って、『わたしは、わたしの父であり、あなたがたの父である方、わたしの神であり、あなたがたの神である方のもとに上る』と伝えなさい。」

* 印象として、第三版の訳では、「わたしの父」と「あなたがたの父」とが区別されているように感じられる(または、一致よりも区別が強調されているように思われる)。しかし原文を読んでみると、そのようではない。区別はあるものの(わたしの父、あなたがたの父)、むしろ区別よりも一致のほうに強調があるように思われる。「わたしの父であり、あなたがたの父である…」である。実際に、ギリシャ語において(「πορεύου δὲ πρὸς τοὺς ἀδελφούς μου καὶ εἰπὲ αὐτοῖς· ἀναβαίνω πρὸς τὸν πατέρα μου καὶ πατέρα ὑμῶν καὶ θεὸν μου καὶ θεὸν ὑμῶν。」)、「πρὸς」という前置詞の後の冠詞は、この後の「τὸν πατέρα μου」も「πατέρα ὑμῶν」も支配して、一つにまとめているように思われる。この意味で、2017 訳はより相応しいと考える。

② * イザヤ 9:1-7(特に、2 節)「B 文法」:「やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った…(6 節)ひとのみとごが、わたしたちのために生まれる。ひとの男の子が、私たちに与えられる。」→「闇の中を歩んでいた民は大きな光を見る。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が輝く…ひとのみとごが私たちのために生まれる。ひとの男の子が私たちに与えられる。」

NIV Isaiah 9:2 The people walking in darkness have seen a great light; on those living in the land of the shadow of death a light has dawned.

RSV Isaiah 9:2 The people who walked in darkness have seen a great light; those who dwelt in a land of deep darkness, on them has light shined.

BGT Isaiah 9:1 ὁ λαὸς ὁ πορευόμενος ἐν σκότει ἴδετε φῶς μέγα οἱ κατοικοῦντες ἐν χώρᾳ καὶ σκιᾷ θανάτου φῶς λάμπει ἐφ' ὑμῶς

WTT Isaiah 9:1 הָעָם הַהֹלְכִים בְּחֹשֶׁךְ רָאוּ אֹר גָּדוֹל יִשְׁכְּל בְּאֶרֶץ צִלְמֹת אֹר גָּדוֹל נִגְהַ עַל־הֶם

* 完了形(預言)をどう訳すかが問題となる。3 版は、2 節は過去形に、6 節は現在形(未来的)に訳している。新共同訳はどちらも過去形に。2017 年は、どちらも現在形(未来的)に訳している。判断の難しいところであるが、その完了形が「預言」なら、預言的に、現在形、または未来形に訳するのがふさわしいのではないかと思われる。しかも曖昧な「…だろう」ではなく、「…ある」という断定的な現在形(未来的)はより良いと言えるかもしれない。

③ * 使徒 4:30「C」:「御手を伸ばしていやしを行わせ、あなたの聖なるしもペイエスの御名によって、しるしと不思議なわざを行わせてください。」→「また、御手を伸ばし、あなたの聖なるしもペイエスの名によって、癒やしとしるしと不思議を行わせてください。」

* ἐν τῷ τὴν χεῖρά [σου] ἐκτείνειν σε εἰς ἴασιν καὶ σημεῖα καὶ τέρατα γίνεσθαι διὰ τοῦ ὀνόματος τοῦ ἁγίου παιδὸς σου Ἰησοῦ.

* ἐν τῷ τὴν χεῖρά [σου]
ἐκτείνειν σε
εἰς ἴασιν
καὶ (同格・並置か、展開か?)
σημεῖα
καὶ
τέρατα
γίνεσθαι
διὰ τοῦ ὀνόματος
τοῦ ἁγίου παιδὸς σου Ἰησοῦ.

*問題は、「εἰς ἴασιν (癒し)」をその前の不定詞にかけ、その後の「しるしと不思議」を「γίνεσθαι」にかけるか、それとも、上記のエイス以下の三つの名詞「癒し、しるし、不思議」すべてを、あとの「γίνεσθαι」にかけるかである。大切なことは、「ギノマイ+エイス」という用法があるかどうかであろう。もしあれば、2017訳が有効になると思われる。バレット (249頁) は、二つの不定詞を「原因と結果」として、あなたの手で、「癒しのために手を伸ばすこと」とその結果として「しるしと不思議が起こる」と考える。確かに、使徒の働きにおける「しるしと不思議」の多くは、「癒し」であると考え、三つの名詞を並置するより、「癒し」と「しるし・不思議」に分けた方がよいかもしれない。

④*創12:2「B文法」:「あなたの名は祝福となる」→「あなたは祝福となりなさい。」

*直訳は、「そしてあなたは祝福であれ。祝福となれ。」である。動詞は、命令形なので、そのまま2017のように訳すことができる。ただし命令形でも、「ヴェ+命令形」で、目的や結果を表す場合もある。こうして、「あなたは祝福となる」と理解することも可能になる。最終的には、文脈や2節全体の構造を見ることになる。2節は1節の命令(わたしが示す地に行きなさい)を受けて、「ヴェ+未完了形1人称+人称語尾(あなたを、あなたを、あなたの名を)」という三つの節(短文)が続いている。その三つの節(短文)は、①わたしはあなたを大いなる国民とする、②わたしはあなたを祝福する、③わたしはあなたの名を大いなるものとする、である。問題はその後節(短文)である。④第四の節(短文)だけが、「ヴェ+命令形」になっている。この流れをどう理解するかである。①②③の三つの節(短文)は、内容的に構造的に、ほとんど一つとして、1節の命令に対する応答の結果に与えられる祝福の約束とみてよいと思われる。では、④は何か。1節の命令への応答に対する祝福の約束として、この四番目の節(短文)も「あなたは祝福となる」と理解するのか。もしそうなら、先の②とほとんど同じ祝福の約束の繰り返しとなる。私は、むしろこの節は、内容的に、次の第3節とより強く結びついていると考える。つまり、「あなたは祝福となれ！」は、神様が「あなた」を祝福する者を祝福されるので、「地上のすべての民族の間で祝福となれ、地上のすべての民族を祝福する者となれ」ということである。アブラハムとその子孫が祝福されるというだけでなく、さらに彼らが神様にあって、全世界の民を祝福するということである。結論としては、第三節とのより強い関係から、ここは、2017のように、「あなたは祝福となりなさい。あなたは祝福であれ」と訳しておきたい。

⑤*ヨハネ4:23-24「D」:「霊とまことによって」⇒「御霊と真理によって」

*ὅτε οἱ ἄληθινοὶ προσκυνηταὶ προσκυνήσουσιν τῷ πατρὶ
ἐν πνεύματι
καὶ
ἀληθείᾳ.

*どのように理解し訳すことができるか。決定的なことは言えないが、より可能性があるとと思われることからまとめていきたい。①「ἐν πνεύματι καὶ ἀληθείᾳ」は、3章5節(ἐξ ὕδατος καὶ πνεύματος)のように、ヘンダイヤディス(2語で1概念を表す)と思われる。②ヨハネ書における「プニューマ」の用法(20回以上)には三つある。第一に、用法の大部分であるが、聖霊ご自身(冠詞があってもなくても、ハギオス「聖」がついてもなくても)と聖霊に属すること(3:6, 6:63)を表す。第二に、イエス様の根源的なBeing、あり方、いのち(4:24の「神は霊でも?」)を表す。第三に、風を表す(一回のみ、3:8)。…基本的に、其々の文脈から三つのうちのどれに属するか明らかであると言える。③では、4:23-24における「プニューマ」は何か。これは、聖霊、または聖霊に属することを指しているとみてよい。実際に、私たちの信仰生活や教会生活を導かれるのは聖霊であるので、礼拝を導かれるのも聖霊であることに誤りはない(ペリピ3:3, エペソ6:18)。では、

「アレーセイア」（真理、真実など）との関係からどのように考えるか。一つの可能性は、「真実な御霊によって」、もう一つは「御霊に導かれた真実な心で」である。絶対とは言えないが、今の時点ではこのような理解を提示しておきたい。敢えて訳すなら、訳語としては「御霊と真実な心で」としたい。2017 訳の「真理によって」は、「真実で、真実な心で」はどうか。（この箇所を、神学的に扱い過ぎてよいかという釈義的問題もある。実際に、相手は「サマリヤの女」であるから）

⑥* 創 4:26「B 語意」:「そのとき、人々は[主]の御名によって祈ることを始めた。」→「そのころ、人々は[主]の名を呼ぶことを始めた。」

* 「אֵל הוֹחֵל לְקַרְא בְּשֵׁם יְהוָה」の直訳は、「そのとき、人（人々）は主の御名で呼ぶことを始めた」（はじめられた）となる。「カラー」の意味は様々で一般的な語なので、「祈る」と訳す必要はないだろう。

⑦* 使徒 2:41「B 語意」:「その日、三千人ほどが弟子に加えられた。」→「その日、三千人ほどが仲間に加えられた。」

* 原文には、「弟子」も「仲間」もないので、直訳的に「三千人ほどが加えられた」でもよい。

⑧* 1 サムエル 8:16「A」:「若者」⇒「子牛」:「וְאֶת־עֲבָדֵיכֶם וְאֶת־שֹׁפְחוֹתֵיכֶם וְאֶת־בְּחֹרֵיכֶם הַטּוֹבִים וְאֶת־מִמְּוֵרֵיכֶם

יִקַּח וְעִשָּׂה לְמִלְאכָתוֹ」: Stuart『旧約聖書の釈義』で扱っている個所でもある。これは、文脈から考えて「若者」よりも「子牛」が相応しいと思われる（徴用徴兵は 11-12 節にすでにあり、ここでは財の徴発・強制的に取り上げることが語られている。榊原 207 頁、新聖書注解）。写字生が「バーカール（牛）」を「バーフル（若者）」を誤写した可能性がある。

⑨* 使徒 2:23「B 語意」:「不法な者の手によって十字架につけて殺しました。」→「あなたがたは律法を持たない人々の手によって十字架につけて殺したのです。」

* 「ἀνόμων」をどのように訳すか。「不法な者」とすると、より一般的に悪人を意味するが、2017 のように「律法をもたない人々」なら、異邦人（ローマ）を指す。文脈から考えると、「あなたがた」はユダヤ人たちなので、「アノモーンの手で」は、ユダヤ人たちも含めた意味で「不法な者たち」というよりも、ユダヤ人たちと区別された、「異邦人たち（ローマ）」が意識されていたと思われるので、2017 訳でいいのではないかな。

⑩* ネヘミヤ 8:10「B 文法」:「きょうは、私たちの主のために聖別された日である。悲しんではならない。あなたがたの力を[主]が喜ばれるからだ。」→「今日は、私たちの主にとって聖なる日である。悲しんではならない。[主]を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。」なお、口語訳は、「主を喜ぶことはあなたがたの力です」

* 「כִּי־חֲדָתָה יְהוָה הֵיא מַעֲלָכֶם」の直訳は、「なぜなら（まことに）主を喜ぶこと（主が喜ばれること）はあなたがたの守り（砦、力）である」となる。問題は、「主の喜び」の「の」が主格属格か、対格属格かである。最終的には文脈で判断するが簡単ではない（口語訳⇒第三版⇒2017 のようである）。全体的には、悲しむことではなく、（主を）喜ぶことを励ましているように見えるので、2017 がより良いだろう。ただ「力」と訳されることは多いが、果たしてより良い訳語か。むしろ、「主を喜ぶことはあなたがたを守る（支える）ことになる」のほうが相応しいのではないかな。

⑪* ヨハネ 17:11(12 も同じ)「…聖なる父。あなたがわたしに下されているあなたの御名の中に、彼らを保ってください」→「聖なる父よ、わたしに下されたあなたの御名によって、彼らをお守りください。」

* 「み名によって」か、「み名の中に」か。τήρησον αὐτοὺς ἐν τῷ ὀνόματί σου の「ἐν」の意味が問題であるが、その後の「オノマ（名）」の理解も関係していると言える。もし「み名」の意味がここで、力、権威などの意味なら、「by, through(KJV)」になる（NIV は、By the power of ）。しかしもし「み名」の意味が神ご自身、その臨在なら「among、(少し曖昧だが in)」。私としては、「み名」の意味は神ご自身、その領域、臨在などを表していると思われるので、among, in（み名の間で、中で）と理解したい。

⑫* ホセア 4:16「C」:「しかし今、[主]は、彼らを広い所にいる子羊のように養う。」→「今、[主]は彼らを広いところにいる子羊のように養うだろうか。」

* 「עֲתָה יִרְעֶם יְהוָה כִּכְבֹּשׁ בְּמִרְחָב」の直訳は、「今、主は養われる（未完了形）。広い所にいる小羊のように」である。これを、平叙文と見なすか、疑問文と考えるかである。前後の文脈から、2017 は疑問文と理解しているようだ。

⑬*ヨハネ 13:1「B 語意」:「その愛を残るところなく」→「最後まで」

*「ギリシャ語のエイス・テロス」を質的にとるか、時間的にとるかで訳が変わる。2017 訳は時間的に理解している。文脈的にどちらも可能性があるが、1 節の前半の意味（最後の時が来た）を考えて後半も「最後まで」でよいかもしれない。

⑭*アモス 9:14「B 語意」:「わたしは、わたしの民イスラエルの繁栄を元どおりにする」→「わたしは、わたしの民イスラエルを回復させる。」

*「שְׁבַתִּי אֶת־שְׁבוּת עַמִּי יִשְׂרָאֵל」の直訳は、「私は戻す。私の民イスラエルの繁栄（第三版）、捕らわれ人（第二版）を」となる。2017 は「אֶת־שְׁבוּת」を訳さずそのまま「イスラエルを」としている。問題は、この個所をより広く、「（これまでのあり方、状況、繁栄の）回復」なのか、「捕囚（地）からの回復」なのかである。この預言が、時期的に後で、南ユダについての預言であるなら後者と言えるが、アモスの預言はそうではないと思われるので、前者として、より広く理解しておいてよいだろう。申命記 30:3「וְשָׁב יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֶת־שְׁבוּתְךָ」も参考になる（第三版「あなたを捕われの身から帰らせ」、2017「主はあなたを元どおりにし」）。

⑮*ヨハネ 10:29「A」:写本によっては意味が異なってくる。第三版は「わたしに彼らをお与えになった父は…」であるが、2017 は「わたしの父がわたしに与えて下さった者は…」と訳されている。

*^{BGT} ὁ πατήρ μου ὃ δέδωκέν μοι πάντων μείζον ἐστίν, καὶ οὐδεὶς δύναται ἄρπάξαι ἐκ τῆς χειρὸς τοῦ πατρός.

^{BYZ} Ὁ πατήρ μου ὃς δέδωκέν μοι, μείζων πάντων ἐστίν· καὶ οὐδεὶς δύναται ἄρπάξαι ἐκ τῆς χειρὸς τοῦ πατρός μου.

*ὁ πατήρ μου ὃ δέδωκέν μοι か、それとも Ὁ πατήρ μου ὃς δέδωκέν μοι かで、この節の主語が変わってくる。「父なる神様」が主語か、父なる神様が与えて下さった「もの…中性複数形」が主語かである。文脈的には、どちらの可能性もあるだろう。何よりも、写本の取扱いが問題になる。A Textual Commentary(メツガー)は、他のいろいろな読み方のオリジンとして後者の読み方のほうを考えている（より不自然なものから理解しやすい読み方が様々に誕生した。逆の流れがあるとしたら、写字生の書き間違えということになる）。反論として、例えば、Carson は、ビザンチンテキスト（伝承）に加え、初期の P66 もこれを支持していること、文脈に合っていること、また最初期の段階でオリジナルな読み方が失われたと推測できることを上げている（393 以下）。

*外的証拠とその流れから推測するとメツガーのほうの可能性が高いと思われるが、内的文脈としては、30 節以下の流れを考慮すると、前者のほうの方がより可能性があると言えるかも。私としては、前者（第三版をとっていきたい）。

⑯*創 21:6「C」:「神は私を笑われました。」→「神は私に笑いを下さいました。」

*「צָחַק עָשָׂה לִי אֱלֹהִים」の直訳は、「彼は笑いを作られた（なされた）、私に。神は」となる。難しいのは、

「笑い」を「アサー」されたと言う時、この「アサー」は何かである。まず「ツェホク」（笑い）に関しては、積極的な意味でも消極的な意味でも使用されていると思われるので、この語の意味だけで、第三版か 2017 か決定できない。ただもし第三版のような意味で使用されているとしたら、このようなヘブル語の言い回しをするか疑問である。ここはむしろ、2017 のように、また積極的な意味で理解しておきたい。

⑰*ヨハネ 16:23「C」:「…あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えにします。」→「…わたしの名によって父に求めるものは何でも、父はあなたがたに与えてくださいます。」

*「私の名によって」がどちらにかかるのか。①文の流れとして前者がより自然。②後者の意味で「私の名によって」の意味は、「わたしの名のゆえに」という意味で根本的な理由になるかも。しかし文脈的には、その後繰り返して、「わたしの名によって求める（24, 26 節）」ことが語られているので、ここは後者が相応しいと思われる。

2) 字義的・直訳的(語意、語順など)か、意識的か？

★第三版は、新共同訳と比べると圧倒的に字義的、直訳的(?) 翻訳であると言える。しかし今回、出版された2017は、第三版と比べると、更に字義的、直訳的(?) 翻訳であると言えるだろう。この意味で、上記で言われていたとおり、更に「原文が透けて見える翻訳」に徹したものになっていると思われる。

①「字義的」*創3:15「B語意」:「**彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかとにかみつく。**」→「**彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。**」

*「הוּא יְשׁוּפֵךְ רֹאשׁ וְאַתָּה תְּשׁוּפְנוּ עָקֶב» から分かるように、「シューフ」が二度使われている。このことを明らかにするためにも、2017は、「頭を打ち、かかとを打つ」として、同じ訳語「打つ」を並べている。こうして、打たれる場所の違いがクローズアップされることになる。2017でよい。

②「字義的」*ホセ7:8「B語意」:「**エフライムは生焼けたパン菓子となる。**」→「**エフライムは、片面しか焼けていないパンだ。**」

*「אַפְרַיִם הָיָה עֵגֶה בְּלִי הַפּוּכָה:」の直訳は、「エフライムは、ひっくり返さないパンであった」で、第三版でも2017でもよいが、後者は、さらに文字通りに近く訳している。

③「字義的」*ヨハネ6:37「B語意」:「**そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。**」→「**わたしは決して外に追い出したいはしません。**」

*2017訳は、ギリシャ語をそのまま訳している。οὐ μὴ ἐκβάλω ἔξω,

④「字義的」*創43:14「D」:「**全能の神がその方に、あなたがたをあわれませてくださるように。**」→「**全能の神が、その方の前でおまえたちをあわれんでくださるように。**」

*「וְאַל שׂוּי יִתֵּן לָכֶם רַחֲמִים לִפְנֵי הָאֵלִי» の直訳は、「全能の神(エルシャダイ)があなたがたに憐みを与えられます(与えられますように)。その人の前に」となる。第三版は意識的で、2017は、直訳的である。

★以上のように、2017は字義的な翻訳を強調していると言えるが、以下では、例外的に、字義的とは言えないような例を挙げている(これは意識が誤りという意味ではない。実際にあるし、むしろ必要な場合もあるということ)。

①「直訳的ではない(語順)」*使徒2:38「C」:「**悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。**」→「**それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。**」

*μετανοήσατε, [φησίν,] καὶ βαπτισθήτω ἕκαστος ὑμῶν ἐπὶ τῷ ὀνόματι Ἰησοῦ Χριστοῦ εἰς ἄφεσιν τῶν ἁμαρτιῶν ὑμῶν καὶ λήμψεσθε τὴν δωρεὰν τοῦ ἁγίου πνεύματος.

*μετανοήσατε, [φησίν,]

καὶ

βαπτισθήτω ἕκαστος ὑμῶν

ἐπὶ τῷ ὀνόματι Ἰησοῦ Χριστοῦ

εἰς ἄφεσιν τῶν ἁμαρτιῶν ὑμῶν

καὶ

λήμψεσθε τὴν δωρεὰν τοῦ ἁγίου πνεύματος.

*前半「**二つの命令:悔い改めよ。イエスキリストのみ名であなた方はそれぞれバプティゾーされよ**」

*後半「**その結果:罪の赦し、聖霊の賜物を受ける**」

*「悔い改めなさい。イエスキリストのみ名でそれぞれがバプテスマを受けなさい。そうすれば罪が赦され、聖霊の賜物を受けることになります」ではどうか。

②*「直訳的でない」出エジプト 15:25 から 26 にかけて

*^{WTT} Exodus 15:25 וַיִּצְעַק אֶל־יְהוָה וַיַּרְהוּ יְהוָה עֵץ וַיִּשְׁלַךְ אֶל־הַמַּיִם וַיִּמָּתְקוּ הַמַּיִם וַשֵּׁם לֵאמֹר מַרְיָה כִּי הָיָה מִן־יְהוָה

JAS Exodus 15:25 モーセは主に叫んだ。すると、主は彼に一本の木を示されたので、モーセはそれを水に投げ入れた。すると、水は甘くなった。その所で主は彼に、おきてと定めを授け、その所で彼を試みられた。

KOG Exodus 15:25 モーセは主に叫んだ。主は彼に一本の木を示されたので、それを水に投げ入れると、水は甘くなった。

その所で主は民のために定めと、おきてを立てられ、彼らを試みて、

第三版「…その所で彼を試みられた。(26 節へ) そして、仰せられた。…」になっている。

新共同訳「…その所で彼を試みて、(26 節) 言われた。…」

協会共同訳「…試みて、(26 節) 言われた」

2017 年訳「…試み、(26 節) そして言われた」

*まとめると、ここはそれぞれの訳の特徴が表れている箇所と言えるだろう。新改訳第三版は、ヘブル語聖書の通りに、文のピリオドに従っているが、次の 26 節とのつながりがなめらかではない。この点、新共同訳も協会共同訳も、流れるようにするために、二つの文を一つの文のようにつないでいる。そして 2017 年訳も、ここでは、3 版から離れ、文が流れるように訳している。この箇所の訳は、神学的に特別な意味はないが、特に、2017 年訳の特徴が出ていえるだろう。

③「意識的」*使徒 15:29「B 語意」:「以上。」→「祝福を祈います。」

*最後の結びの言葉としての「ἔρρωσθε。」について: LONGENECKER (また WETHERINGTON) が言うように、当時の典型的な手紙の結びの言葉 (完了形受身の命令) とすると、訳語の決定は難しい。直訳は、「あなたがたは強められよ？」かもしれないが、単なる挨拶とするなら「さようなら」、動詞の文字通りの意味を含めるなら、新共同訳のように「健康であるように」、「ご健康を」、からだの健康だけでないなら「祝福があるように」、「守りがあるように」となるかも。

④「字義的でない」*黙示 1:10「御霊に感じ」→「御霊に捕えられ」、4:2「私は御霊に感じた」→「私は御霊に捕えられた」、17:3「御霊に感じた私を」→「私を御霊によって」、21:10「御霊によって私を」→「御霊によって私を」

*いずれも、原文では、其々「ἐγενόμην ἐν πνεύματι、ἐγενόμην ἐν πνεύματι、ἀπὴννεγκέν με …ἐν πνεύματι、ἀπὴννεγκέν με ἐν πνεύματι」である。「ἐν πνεύματι」に関して、「御霊に感じ」(第三版)という訳にも賛成できないが、「御霊に捕えられ(た)」(2017)も訳として強すぎるように思われる。1:10 や 4:2 においては、「私は御霊にあった、御霊のうちにあった、御霊に導かれていた」という訳でどうか。

聖書協会共同訳聖書を読んで

松浦 剛

1. はじめに

2018 年 12 月 3 日(月)に発行された「聖書・聖書協会共同訳」を読み、10 日毎に 10 通の手紙を発行元に書いたもの、逆に発行元から当方に寄せられた便り、さらにこの聖書に関する筆者の読後感のまとめを記したい。

2. 日本聖書協会への手紙 10 通

(1) 第 1 信 2018 年 12 月 16 日(日)

頌主 2018 年 12 月半ばを過ぎ、残る日数は少なくなりました。まもなく新年を迎えようとしています。

さて、日本聖書協会は、この度「聖書協会共同訳」を刊行されました。わたしはこの聖書を 2018 年 12 月 7 日(金)にキリスト教書店で購入しました。

その日から 20 ページずつ読み、本日 12 月 16 日(日)で 10 日目です。すでに 10 日間たち、199 ページまで読み進みました。音読しています。20 ページ読むのに約 1 時間かかります。

訳された日本語は平易でスムーズに読むことができます。規定の病気なども落ちついた表現のように思います。2019 年 3 月 13 日(水)、97 日かけて読了する予定です。とくにヨブ記、詩篇あたりは期待もっています。 主にありて

(2) 第 2 信 2018 年 12 月 26 日(水)

頌主 主の祝福の中に日本聖書協会のお働きが恵まれ前進していることをお喜び申し上げます。

さて、わたしは聖書協会共同訳聖書を 12 月 17(月)～26 日(水)に、旧約 199～400 を読み進みました。10 日間で 614 分、1 日につき 61 分で読み進みました。民数記 3 章から師士記 19 章までを味わいました。

早朝に 20 ページ読む日がほとんどですが、日曜など朝 10 ページ、夜 10 ページの日もございました。とくに申命記、ヨシュア記は内容ゆたかな書であり、つつい引き込まれ、毎日幸せ感がある10 日間でした。

新共同訳からは変わった訳文の箇所も興味ふかく読み、地の文章がより平易になっていることも安心を覚えたことでした。 主にありて

(3) 第 3 信 2019 年 1 月 5 日(土)

頌主 新しい年 2019 年を迎えました。この 1 年、日本聖書協会の働きが祝されることをお祈り申し上げます。

さて、わたしは 2018 年 12 月 27 日(木)～2019 年 1 月 5 日(土)までの 10 日間に聖書協会共同訳 400～600 ページを 576 分(1 日に 58 分)で読みました。士師記 20 章～列王記下 19 章までを味わいました。サムエル記下 1 章弓の歌、列王記下 19 章イザヤの預言、共に詩形の表記は、新共同訳よりも改善されたように思いました。

ところで、30 日かけて旧各 600 ページ分を読み、思うことがあります。1987 年に新共同訳中型聖書が発行されたときの組版と今回の聖書協会共同訳のそれとでは主文の活字が小さくなり、読みつらく、老人には厳しい聖書となってデビューしたということです。中・高・大学生のよう

に若い世代に向けられているとの批判ができます。 主にありて

(4) 第4信 2019年1月15日(火)

頌主 はや新年1月も半ばとなりました。

さて、私は1月6日(日)～15日(火)に聖書協会共同訳旧約600～800ページを601分(1日60分)で読ませていただきました。預言者エリヤがヨラム王に宛てた手紙(歴代誌下20章)、ネヘミヤの祈り「私の神よ、私を心に留めて、お恵みください。」(ネヘミヤ13章31節)など心をとらえたみことばがありました。

聖書協会共同訳をすでに40日かけて1日20ページずつ読んできたところ、今この聖書の表紙がそり返り、8～10ミリメートル浮き上がっています。聖書は内容の主文もさることながら製本も落ちつきとしっとりさを求めるのですが、かわいそうなくらいの外周面となっていると思います。もう少し表紙が強ければよかったかと思っています。あと40～50日かけて読了予定ですが、その時点でどうなっているのでしょうか。 主にありて

(5) 第5信 2019年1月25日(金)

頌主 新しい年も、はや1か月が過ぎようとしています。

さて、日本聖書協会が刊行された「聖書協会共同訳聖書」を1月16日(火)～25日(金)の10日間で旧約800～1000ページ、ヨブ記31章～箴言20章を、418分で読み、1日につき42分で味わいました。詩形の表現がほとんどで、毎日が感動でした。なぜかといいますと詩編を朗読しているとリズム感があり、読むごとに心が躍るのです。

これであれば礼拝の交読文で聖書協会共同訳を使用しても、礼拝の聖さは保たれるのではないかと判断しました。わたしの奉仕している教会で1998年1月から今日まで交読詩編は新共同訳を使用してきましたが、今回の訳だとさらにグレードが上がるのではないかと期待感がでました。 主にありて

(6) 第6信 2019年2月4日(月)

頌主 2月1日(金)にお便りをさし上げたところです。再びペンをとらせていただきます。わたしは1月26日(土)から2月4日(月)までの10日間に聖書協会共同訳聖書をコヘレトの言葉2章からエレミヤ書20章までを読みました。405分(1日に41分)かかりました。

イザヤ、エレミヤという旧約の預言者が現代のことばで語り出していました。歯切れよく、時として感情をこめ、ていねいに、神の使信を伝えています。そのみごとさにパチパチと手をたたいて喜ばいたい思いがしております。

全国に50校あるキリスト教主義中学校、高校で教務教師が生徒に教えた場合、あるいはイザヤ、エレミヤのことばが伝わるかもしれないと期待を持ちました。たんなるわたしの思い込みでなければよろしいのですが。 主にありて

(7) 第7信 2019年2月14日(木)

頌主 はや2月半ばを迎えました。渡部総主事はじめ、聖書協会の職員のみなさまもお元気にご奉仕のことと存じます。さて、わたしは2月5日(火)～14日(木)の10日間にエレミヤ21章からホセア14章まで、200ページ分を朗読しました。全部で488分(1日に49分)かかりました。

エゼキエル、ダニエルという預言書の中では難解な書ですが、聖書協会共同訳では、読者であるわたしに魅力的にみことばの世界に引き込まれようとする力を感じ取りました。ここ3か月間ダニエル書を1週に1章ずつ、日曜日ごとに講解説教してきました。そのような関係もあつて、確かにエゼキエル、ダニエルが読者により開かれた書になったことを実感いたしました。もっとも口語訳、共同訳もそれぞれ個性があり、捨てがたい訳なのですが。 主にありて

(8) 第8信 2019年2月24日(日)

頌主 はや2月下旬となりました。主の守りの中でお働きが祝していらっしゃることでしょう。

さて、聖書協会共同訳旧約を2月15日(金)～18日(日)に、新約を2月19日(火)～24日(日)に読みました。旧約156分、新約290分(1日に月45分)かかりました。ヨエル書1章～ルカ福音書8章までを味わいました。旧約全体を74日で読みました。

旧約12小預言書のうち11書、新約はマタイ、マルコ、ルカの1/3を読みました。11人の預言者の人物像、使信の特色がくっきりと表現されていて、理解を助けてくれました。マタイ、マルコは、長年読んできた口語訳と新共同訳とはちがって、今日のプロテスタント、カトリック信徒のための訳文かと思い、なんともいえない感銘を受けました。

わたし自身10年か20年後に死ぬと思いますが、聖書協会共同訳聖書で告別式説教をして欲しいなと願ったことでした。 主にありて

(9) 第9信 2019年3月6日(水)

頌主 3月、春を迎えています。さて、わたしは聖書協会共同訳を2月25日(月)～3月6日(水)の10日間に新約199～320ページを519分(1日に52分)で読みました。ルカ福音書9章から2コリント1章までです。前回の10日間は旧約も読みましたが、今回からは新約のみです。

ルカ文書であるルカ福音書、使徒言行録は歴史記録的に、ヨハネ文書のヨハネ福音書は霊的深みがあるものとして、パウロ書簡のローマ、コリントは論理的、人間味のゆたかさがくっきりと描写され、さすがは新しい訳だと思いました。

しかし、これらの新約聖書は今後読みこなされて、日曜日の礼拝説教に反映されていくことでしょう。教団口語式文に使われているのは口語訳ですが、聖餐式のものを聖書協会共同訳に書きかえて4月の聖餐式をしてみたいと思っています。ことに1コリント11:23～34の訳が気に入っています。 主にありて

(10) 第10信 2019年3月13日(水)

頌主 3月中旬を迎えています。さて、わたしは聖書協会共同訳(新約)の320～467ページを3月7日(木)～13日(水)に373分(1日に53分)で読みました。2コリント2章からヨハネ黙示録22章まででした。

2018年12月7日(金)～2019年2月18日(月)に旧約を読み、63時間25分かかり、2月19日(火)～3月13日(水)に新約を読み、19時間42分かかりました。合わせて83時間7分で読了しました。

新約ガラテヤ～テトスあたりによいみことばが集中していて、しかも、どの書も明瞭で印象深い訳文であり、感銘をうけました。聖書全巻を97日で読み、毎日体がシャンとするような歩みでした。

今回の聖書を名付けてみれば、①バツタ聖書(黙示録にもバツタが出てきました)、②規定の病氣聖書、③月経聖書、ということです。みことばが教会の礼拝で読まれる時、品位と厳肅さが保たれ、おおかたの人々に受け入れられていくのかは、5年、10年と使用して判断されていくことでしょう。 主にありて

追伸 日本聖書協会への手紙は2018年12月16日(日)、12月26日(水)、2019年1月5日(月)、1月15日(火)、1月25日(金)、2月4日(月)、2月14日(木)、2月24日(日)、3月6日(水)、3月13日(水)に合計10通さし上げました。“1日に20ページずつ読みました”ということをお知らせするお便りに終始いたしました。

緑内障を患っているわたしですが、眼圧が12月末の診療のときは12、3月初めの診療のとき

も 12 でした。医師が「眼圧がよい数字になっていて、ふしぎでならない」といわれました。医学のことはよくわからないわたしですが、新しい聖書を読み、規則正しい生活をした、神からの恵みと思っています。

3. 聖書協会からの便り 6 通

(1) 第 1 信 島先克臣様（翻訳部） 2018 年 12 月 28 日（土） ハガキ

松浦先生、お便りありがとうございました。月報や朝祷会で新翻訳を用いてくださり、ありがとうございます。また、旧約聖書に関しよい感想をおよせくださり、感謝申し上げます。大変励まされます。今年も色々お世話になりました。どうぞよいお年をお迎えください。

(2) 第 2 信 柳澤真様（広報部） 2019 年 1 月 28 日（月） E メール

松浦先生、いつもお世話になっております。年が明けてから早くも 1 か月が経とうとしています。本当に月日の経つのが早いです。さて、「湖畔の声」1 月号のご寄贈ありがとうございました。島先にも共有いたしました。早速にこうして聖書協会共同訳をご紹介くださって大変有り難いです。聖書が発行されてから 1 か月以上経ちました。今度皆さまに読まれていく中で、いろいろな反応が寄せられていくと思います。今年 4 月には総主事の交代も行われ、聖書協会も変化していくことと思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(3) 第 3 信 島先克臣様（翻訳部） 2019 年 1 月 28 日（月） E メール

松浦先生、大変大きな励ましとなるお便りをいただきました。もし、ご許可いただけますならば、「詩編を朗読しているとリズム感があり、読むことに心が躍る」などの文章をお名前つきで、使わせていただいてよろしいでしょうか。ご検討いただければ幸いです。

(4) 第 4 信 中野誠様（出版部） 2019 年 2 月 25 日（月） 封書

松浦剛先生 謹啓、主の御名を讃美いたします。過日は「聖書 聖書協会共同訳」に関し、貴重なご意見を賜わり、ありがとうございました。お返事が遅くなり、まことに申し訳ないことでございます。

熱心にお読みくださっている松浦先生に、表紙が反ることにより多大なご迷惑とご不便をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。その後、いかがでございましょうか。

ボール紙を芯にした表紙で製本する場合に生じることがある表紙の反りにつきましては、各製造現場に赴き、原因解明のために検証と実験を重ねておりますが、現時点では、完全にこれを防ぐことが技術的に難しい状態です。引き続き、今後も改善のための努力を継続していく所存でございますので、なにとぞご容赦のほどお願い申し上げます。お手紙をいただいた後、さらなる不具合をお感じでしたら、どうぞなんなりとご連絡くださいますように、お願いいたします。

当面の対処方法といたしまして、お手数をおかけしてまことに恐縮でございますが、ご使用にならないときには本と立てず、寝かせていただき、重しを載せることを提案させていただきます。略儀ではございますが、書面にてお詫び申し上げます。どうか今後とも変わらぬご指導とご加鞭を賜わりたく、衷心よりお願いいたします。 敬具

(5) 第 5 信 島先克臣様（翻訳部） 2019 年 3 月 15 日（火） E メール

松浦先生 何通かお手紙をいただいているにも関わらず、このように、時々 E メールにてのご返事、申し訳なく思います。いつも聖書協会共同訳に対する良いご評価、感想をお寄せくださり、ありがとうございます。おっしゃるように、この度の翻訳では、詩文はすべて、詩人、ある

いは、歌人がついて、より詩文らしくする努力をいたしました。そのため、詩文に対するよい評価を他の方々からもいただいています。

また、物語文も、物語を専門とする文学者がついて、物語らしくしていきました。今回の事業では、すべての書において、最初から原語担当者と日本語担当者がチームとして取り組んだ結果が現れているのだと思います。

ところで、先日、日本バプテスト教会連合の集まりで、聖書協会共同訳についてアピールさせていただいており、河野勇一先生とも再会いたしました。河野先生とは、中部地区でお話しさせていただいた時にお会いしたのですが、再会を喜んだことです。引き続き、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

(6) 第6信 島先克臣様（翻訳部） 2019年3月15日（金） 封書

松浦先生 前略 この度も、聖書協会共同訳の通読のお知らせありがとうございました。今まで何回かEメールにて御礼申し上げましたが、本日、お手紙を差し上げたいと思いました。

新約の黙示録まで八十三時間で読破したとお聞きしました。お疲れ様でした。この間、かえって健康が支えられたとお聞きし、嬉しく存じます。私も緑内障との診断が一昨年くだり、眼圧を抑える点眼薬をつけています。

「日本をキリストへ」というニュースレターより、隠退記念連続講演というこの秋にされるとお聞きしました。天幕伝道を思わせる企画で、先生の健康が支えられ、福音が大胆に伝えられますようにお祈りいたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。 草々

4. 日本聖書協会への返信4通

(1) 第1信 島先克臣様（翻訳部） 2018年12月22日（土） 封書

頌主 2018年も恵みのうちにクリスマスを迎えました。12月はじめには聖書協会共同訳が発行され、まことに幸いでした。2017年10月に「新改訳2017」が出たとき、創世記1:2に第3版と同じく「茫漠」という字が使用され、一般の日本人にはなじめないものとなっており、同じページの中で文体がちがう文章が記されていたりしたことに、ショックは大きかったことでした。当方教会月報2019年1月号に「新年の恵みと幻」「キリスト教の徳」の2つの文章に聖書協会共同訳のことにふれています。わたしだけでなく、多くの牧師はこの聖書に注目していることでしょう。1月7日（月）名古屋朝祷会で説教します。1テサロニケ5:12~28から奉仕します。聖書協会共同訳の聖句で説教することを、朝祷会の責任者に知らせています。 主にありて

(2) 第2信 日本聖書協会御中 2019年2月1日（金） 封書

頌主 はや2月を迎えました。主の使命に日々前進されていることと存じます。さて、日本聖書協会の職員の方2名からEメールをいただきました。

蛸沢真兄が「湖畔の声」1月号の寄贈礼状をくださいました。これは公益財団法人近江兄弟社湖声社（藪秀実兄）が2019年1~12月号を日本聖書協会にプレゼントしておられるものです。その理由は毎号宣教のページの原稿が聖書協会共同訳が使用されているからです。

島先克臣兄からもEメールをいただきました。わたしが日本聖書協会宛にさし上げた手紙に、「詩編を朗読しているとリズム感があり、読むごとに心が躍る」と書きましたが、これをわたしの実名で紹介してもよいかとの問いがされていました。この件を了承いたします。ただ実感したことを記しただけなのですが。とりあえずお返事まで。 主にありて

(3) 第3信 中野誠様（出版部） 2019年3月2日（土） 封書

頌主 はや3月、春を迎えました。2月25日付のお便りをいただき、拝見いたしました。聖

書の表紙が反ることについて、わたしの考えを述べさせていただきます。

①どんな本を作るか、②どのように使うか、の2点の課題がありませんか。①クローズ製の表紙の厚さは、(1)「広辞苑」7版→(2)「聖書協会共同訳」「新改訳 2017」→(3)「石原謙著作集」(岩波)「植村正久と其の時代」(教文館)→(4)「キリスト教倫理学」(近藤勝彦、教文館)、という順に厚くなっています。(1)(2)は反りますが、(3)(4)は反りません。

②(1)を引くときの所要時間が1～5分です。(2)を1日に20ページ読むと60分かかります。しかも両手で聖書を持つと、表紙を反らさせるように圧力がかかります。聖書製本への対策としては(3)程度に厚くすることではないでしょうか。「広辞苑」「植村正久と其の時代」は箱入りです。箱に納めることで反りを矯正できます。

現在、「聖書協会共同訳」は、といている背の部分の片方手で持って、使用しています。でないと表紙は反ってしまいます 主にありて

(4) 第4信 島先克臣様(翻訳部) 2019年4月4日(木) 封書

頌主 はや4月を迎えました。イースターも近くなってきましたね。さて3月18日(月)には日本聖書協会をお訪ねした際、柳澤真兄と共に応対いただき、お交わりくださり、ありがとうございました。

また、4月3日には、聖書協会共同訳のみことばを文章の中に引用するときの表記についてわたしの質問に適切にお答えをくださり、ほんとうに助かりました。そのとき、わたしが「旧約における復活の預言」という文章の校正中、と申し上げたところ興味関心を示されました。それゆえ第一校と第二校の写しを送りいたしました。たんなる読みものとして2400字で、月刊「湖畔の声」(近江兄弟社)に執筆したものです。時間がございましたら、お読みくださると幸いです。

主にありて

5. 聖書協会共同訳の読後感

(1)直感、実感としての印象

筆者が最初に手にした聖書は、1961年に口語訳(日本聖書協会、1955年)でした。当時文語訳聖書か口語訳聖書しかありませんでした。神学校で学ぶようになったのは、1968年でした。4年間の神学生時代、口語訳で学びや実際の訓練を受けました。そして日本イエス・キリスト教団の教職者として、1972年から教会に仕えました。この教団は口語訳聖書を公用聖書とし、2019年の今でも口語訳でなければ、教団総会、教区総会、各教会日曜日礼拝の奉仕ができません。個人的学びでは、新共同訳(1987年)と新改訳第3版(2003年)を徹底的に使いこなし、双方とも十分に親しみました。

そのような筆者ですから、聖書協会共同訳を2018年12月7日(金)～2019年3月13日(水)に、1日20ページずつ97日かけて音読したとき、「アッ、これはいける」という直感がありました。では、何が「いける」と思わせたのでしょうか。それは、58年間にわたって口語訳聖書と共に生活をし、この聖書から信仰上の養いを受けてきた人間の感性による、としか言いようがありません。

また、新共同訳聖書を31年間にわたって腰をすえて読み、みことばの語りかけを聞いてきました。新改訳第3版は、16年間も製本がダメになるほど、とことん使いました。この聖書から学び尽くしたという現実があります。で、結局筆者に見に付いたみことばの傾向というものは、裳訳→新共同訳→聖書協会共同訳というライン上にあるということです。

聖書協会共同訳を、毎日60分ほどで通読してゆきますと、楽しく、ごく普通に、自然のままに読めるということを実感しました。ことにヨブ記、詩編、イザヤ書のように詩形の組版がされていて、読むにつれリズム感があるため、読むのが楽しくてしょうがないという気持ちがいたしま

した。

(2) シンボルのように登場した「規定の病」「バッタ」「月経」

虚心坦懐に、何のわだかまりもなく、聖書協会共同訳を読了したとき、3つの言葉が印象深く心に残りました。その3つとは、規定の病、バッタ、月経でした。

・規定の病———レビ記13章2節に記されている病気の病名は、癩病(文語訳)、らい病(口語訳)、ツァアラト(新改訳第3版)、重い皮膚病(新共同訳)、規定の病(聖書協会共同訳)となっています。規定の病という訳語を2018年12月に最初に見たとき、何のことであるのか、よく分かりませんでした。聖書協会共同訳を読み進みゆくとき、何回もこの言葉と出会い、理解できるようになりました。

・バッタ———出エジプト記10章12節にバッタが出てきます。「アッ、イナゴではなかったのですか」と思いました。中島路可著「聖書の中の科学」(裳華房、1999年、108～112ページ)に「イナゴ」は誤訳であり、正しくは「バッタ」であることが書かれています。聖書協会共同訳では、今までの誤訳を訂正して「バッタ」を採用されました。慣れるのに3～5年はかかるでしょうが、きっとバッタが受け入れられていくことでしょう。「New 聖書翻訳 No. 3」(日本聖書協会2017年、45～50ページ)に、小林進日本聖公会司祭によって、「イナゴ、バッタについて」の文章が載せられていて、よく理解を助けてくれます。

・月経———2018年12月8日(土)、聖書協会共同訳を読み始めて2日目のことでした。創世記18章11節に、「アブラハムとサラは多くの日を重ねて年を取り、サラには月経がなくなっていた。」と書かれた箇所に来て、驚いてしまいました。きっと女性翻訳担当者あたりが、そのものズバリの表記をされたに違いありません。

(3) 価値ある特色は何なのか

訳語の新採用、日本語表記の今日性、というようなことは、実際に目立つことなので、その方面に注目しがちです。だが、一番大事なことは信仰上の聖句の解釈であるように思います。

・ローマの信徒への手紙3章22節にある「神の義は、イエス・キリストの真実によって、信じる者すべてに現されたのです。」の聖句のうち、「イエス・キリストの真実」の部分が、「イエス・キリストを信じる信仰」(口語訳)、「イエス・キリストを信じることによって」(新改訳2017)、というようにどちらにも訳せる原語が使用されています。今回の聖書協会共同訳では、ローマの信徒への手紙3章21～26節は「神の義」がテーマなので、ピステイス・クリストゥを「キリストの真実」と訳した方がよいと判断されました(「聖書 聖書協会共同訳—礼拝にふさわしい聖書を」2018年1月1日発行、11-12ページ)。この件に関しては「New 聖書翻訳 No. 2」(日本聖書協会2015年、27～41ページ)に、阿部包氏による論文「パウロにおけるピステイスの意味—イエスの信仰とわれわれの信仰」があって参考になります。翻訳の根拠と思われます。

・コヘレトの言葉9章9節、「愛する妻と共に人生を見つめよ 空である人生のすべての日々を。それは、太陽の下、空であるすべての日々に 神があなたに与えたものである。」の中、「愛する妻と共に人生を見つめよ」は新共同訳のときは「愛する妻と共に楽しく生きるがよい」でした。聖書協会共同訳における妻とか女性の立ち位置が、男女同等に近くなっていると思われます。

・マタイによる福音書8章15節、「イエスが手を触れられると、熱は引き、しゅうとめは起き上

がってイエスに仕えた。」の中の「イエスに仕えた」は、新共同訳のときは「イエスをもてなした」となっていました。主イエス・キリストを信じる女性は、イエス・キリストに何か貢献したいと願う場合に、「もてなす」という奉仕に限られたように受け留められてきたのですが、聖書協会共同訳では女性信徒は、男性に伍して「イエスに仕える」姿が描かれています。ここでも女性奉仕者の地位が確保されているとうかがえます。

(4) これは困ったと当惑したこと

詩編 71 編 2、15、16、19、24 節に「正義」という言葉が出てきます。「義」（口語訳）「恵みの御業」（新共同訳）と訳されてきた言葉が、今回は「正義」となったことに当惑しました。なぜかといいますと、マルチン・ルターの塔の経験に深くかかわる詩編 71 篇の 5 つの「義」は宗教改革の出来事を左右するような聖句であっただけに、「義」（口語訳）に戻してほしいと願ってきただけに、残念でしかたありませんでした。

また、コリント信徒への手紙一 2 章 4 節に「私の言葉も私の宣教も、雄弁な知恵によるものではなく、霊と力の証明によるものでした。」とあります。新共同訳の同じ聖句においては「“霊”」という印が付いています。今回の訳でこの「“ ”」がなくなりました。新共同訳の巻頭に凡例があり、その中に「“ ”」の説明が次のようにされています。「新約聖書において、底本の字義どおり『霊』と訳した箇所のうち、1978 年版「新約聖書 共同訳」において、『聖霊』あるいは『神の霊』『主の霊』と訳出したケースの前後に付けた」とあります。新約聖書中「“ ”」の印があらちらちらとあって、なかなか便利な印として読んできたものですから、今回の訳でなくなって、損失を感じました。

6. おわりに

「新改訳 2017」が出版されたとき、筆者は 1 日 20 ページずつ 108 日かけて読了しました。その感想などを文章にまとめて新聖書刊行会の読者の声を聞く窓口に宛てて送ったのです。丁重に書き上げて封書にして送付したのですが、1 通のハガキ、E メールもなく、新聖書刊行会側との対話らしい対話もできないまま終わりました。

それゆえに、今回の「聖書協会共同訳」は通読 10 日目ごとに全部で 10 通の便りを日本聖書協会に送り続けました。すると 6 通の返信をいただきました。これは、筆者の聖書通読を励ますものとなって、うれしい思いがいたしました。

しかし、今、「聖書協会共同訳」の出版元と直接に文通した意味を考えてみて、最善な手段であったとは判断できないでいます。神学校の聖書学の教授の方など、公平な立場の方と「聖書協会共同訳」の内容について、きっちりとした対話をさせていただいた方がよかったのではないだろうか、と反省しています。ま、過ぎ去ったことを悔やんでもいたしかたありません。「新改訳 2017」、「聖書協会共同訳」の 2 種の新しい聖書が出現したことは驚くに値す！出来事でした。それを 100 日前後で通読して、新しい訳をつぶさに味わえたことは、幸せのほか何ものでもありませんでした。

（日本イエス・キリスト教団名古屋教会牧師）

◎会員の皆さまの投稿、ご意見、ご要望など、気軽にお寄せ下さい。お待ちしております。

◎会員も募集中です。どなたかお知り合の方を推薦していただけるでしょうか

日本福音主義神学会中部部会報 第19号

2019年5月20日発行

発行者 檀原久由

編集者 大庭貴宣

発行所 〒460—0022

名古屋市中区金山2—1—3

金山クリスチャンセンター内

日本福音主義神学会中部部会

TEL/FAX 052-321-7516

郵便振替 「福音主義神学会・中部」

00850—8—84195